



# 家畜市場 価格の推移 (2月)

## ▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立頭数	取引率	最高価格	最低価格	平均価格	体重	
スモール	雌	6	5	83.3%	172,800	4,320	66,600	53
	雄	113	108	95.6%	147,960	1,080	103,661	65
計	119	113	95.0%	172,800	1,080	101,793	64	
F1	雌	176	169	96.0%	312,120	108,000	260,477	66
	雄	190	184	96.8%	393,120	106,920	313,018	71
計	366	353	96.4%	393,120	106,920	287,752	69	
ホルス(5才) 雌	34	34	100.0%	419,040	102,600	254,213	761	

## ▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
十勝	5日	695	538	77.4%	1,411,560	222,480	967,728
釧路	6日	324	238	73.5%	1,202,040	653,400	904,282
根室	7日	477	403	84.5%	1,298,160	544,320	937,512
北海道	8日	98	88	89.8%	1,215,000	665,280	853,482
豊富	14日	240	200	83.3%	1,316,520	598,320	967,982
北見	20日	356	327	91.9%	1,163,160	450,360	958,152
十勝	21日	645	555	86.0%	1,736,640	415,800	963,177
根室	28日	296	268	90.5%	1,249,560	541,080	966,225
合計		3,131	2,617	83.6%	1,736,640	222,480	939,817

## 業務報告 (2月分)

- 1日 備北・南部DMS入力会
- 3日 小島敏文議員新年会
- 4日 酪農会館落成祝賀会
- 5日 乳代精算システムあり方検討会
- 6日 全酪連審議委員会
- 7日 西日本酪農青年女性会議三役・事務局会議
- 8日 中国四国地域飼料増産研修会
- 9日 全酪連監事・役員研修会(八日迄)
- 10日 牛乳普及協会運営委員会
- 11日 北広島町酪農連絡協議会新年会
- 12日 酪農学園大学業界セミナー
- 13日 平成三十年度退職準備セミナー
- 14日 農地中間管理事業推進会議
- 15日 東部管内組合員交流会
- 16日 河井克行議員新年交歓会
- 18日 JA経営対策担当部課長会議
- 19日 広酪メンバースクラブ役員会・監査会
- 20日 JA合併推進委員会
- 21日 酪農ヘルパー調整会議
- 22日 広島県食育推進会議
- 23日 香川県農業機械化協議会視察受入
- 24日 牛群検定ブロック会議(二十一日迄)
- 25日 東部DMS入力会
- 26日 西部DMS入力会
- 27日 備北・南部DMS入力会
- 28日 グリーンウイングスとやま取締役会
- 29日 第三回総務委員会・第二回生産委員会合同委員会
- 30日 日本酪政連事務局長・事務担当委員会
- 31日 下期学校給食用牛乳供給推進協議会
- 1日 全農乳牛担当者会議
- 2日 庄原地域酪農振興会役員会
- 3日 生乳格付検査補助員・検体採取責任者会議
- 4日 広酪メンバースクラブ監査会
- 5日 Jミルク風味異常研修会
- 6日 担い手・営農担当部課長会議
- 7日 JA自己改革担当常勤役員会議他
- 8日 HACCP研修会
- 9日 広酪リンクル3推進(二十八日迄)
- 10日 広島県畜産関係団体連絡協議会
- 11日 畜産女性経営者の育成支援に関する研修会

## 編集後記



一九九四年四月、広酪発足に併せて発行を開始した本誌「らくのうだより」も節目の三〇〇号の発行を無事終えることが出来ました。

発行に併せてその表紙には「めぐすのは『豊かさ』『健康』『うるおい』の酪農」の文字が刻み込まれました。

あれから二十五年、発行同月の酪農家数四百二十五戸は、今や一七戸に減少し、減少率は七二・四%となっています。

合併当初、二十五年間を経た先で、ここまでの酪農家数の減少を誰が予想されたことでしょうか。

広酪は、現実直視からは、酪農家数の減少はやむを得ないこととして、現存する酪農家には「めぐすのは『豊かさ』『健康』『うるおい』の酪農」を実感できるような努力を継続したいと考えています。

今年の西日本の冬は暖かく、「スーパードン」の文字も目にしました。

県内の豪雪地帯の旧芸北町や庄原市高野町でも根雪は無く極めて珍しい現象となり、県内のスキー場などは、大きな経営打撃を被られたようです。

新調したスタッドレスタイヤも摩耗するばかりで、冬支度にと用意周到な準備も肩すかしといったところでしょうか？

県内の酪農家では、こうした天候に支えられて堆肥運搬や処理が順調に進んでいるそうです。

広酪の生乳受託量は、日量百二十トン前後で推移し、この内、七十五%の約九十トンが、三次CS(三次広域需給施設)に一旦集まり、中国生乳販連の配乳指示を受けて県内外の乳業者に届けています。

三次CSの業務を担う担当職員や、集送乳車両の乗務員からは、「今年は雪が

## 市町別生乳受託量の進捗状況(2月)

(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	30年度累計	前年比(累計)
庄原市	807.1	24.6%	106.8%	9,308.1	97.8%
世羅町	533.6	16.3%	101.3%	6,593.2	100.0%
三次市	452.8	13.8%	80.3%	6,088.2	84.2%
北広島町	405.8	12.4%	100.3%	5,029.6	102.7%
安芸高田市	310.4	9.5%	100.5%	3,573.1	87.7%
東広島市	295.0	9.0%	99.5%	3,518.2	101.3%
府中市	163.9	5.0%	83.8%	2,146.7	92.5%
福山市	114.4	3.5%	93.3%	1,306.4	90.7%
三原市	65.3	2.0%	91.4%	837.6	95.3%
広島市	61.9	1.9%	83.4%	786.6	89.9%
呉市	48.7	1.5%	100.6%	558.7	96.6%
神石高原町	18.1	0.6%	136.8%	222.4	93.4%
合計	3,276.9	100.0%	96.9%	39,968.9	94.9%

※公共機関からの生乳受託数量は除く。

## プール乳価(2月分)

プール乳価	110.9599円
前月分プール乳価	110.6083円
前月対比	100.31%

## 生乳生産量など前年同期比較(2月分)

前年対比区分	戸数	構成比	増産乳量(kg)
生乳生産量が100%以上に達した組合員戸数	62戸	53.0%	267,659.1
生乳生産量が100%未満となった組合員戸数	55戸	47.0%	-157,926.8
合計	117戸	100.0%	109,732

注)この比較は、平成31年2月の生乳出荷のあった組合員を基準に示しています。  
(廃業組合員は含まない)

## 生乳受託実績(2月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	36	10	37	34	117
生乳出荷量(トン)	1,105.7	343.7	778.0	1,049.5	3,276.9
前年同月対比(%)	93.5%	99.6%	98.8%	98.5%	96.9%
前月対比(%)	91.5%	91.6%	92.4%	89.2%	91.0%
生乳出荷累計(トン)	13,579.4	4,076.9	9,389.3	12,923.3	39,968.9
広酪構成比(%)	34.0%	10.2%	23.5%	32.3%	100.0%

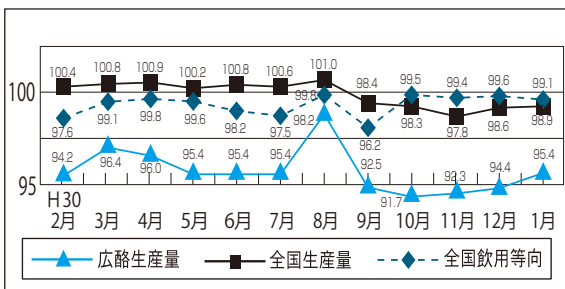
※公共機関からの生乳受託数量は除く。

## 市町別の生乳出荷組合員

### による購買品利用高の状況(1月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(トン)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	44,815	878	32.3%	51.04円
2	三次市	30,717	502	22.2%	61.19円
3	安芸高田市	17,432	327	12.6%	53.31円
4	府中市	11,894	185	8.6%	64.29円
5	北広島町	10,465	450	7.5%	23.26円
6	福山市	7,258	120	5.2%	60.48円
7	世羅町	6,584	609	4.7%	10.81円
8	三原市	3,863	71	2.8%	54.41円
9	東広島市	3,652	318	2.6%	11.48円
10	神石高原町	1,349	20	1.0%	67.45円
11	呉市	304	58	0.2%	5.24円
12	広島市	290	65	0.2%	4.46円
合計		138,624	3,601	100.0%	38.50円

## 生乳需給の前年比推移(1月) (単位:%)



無く良かった」との喜びの声も聞こえ、このことは、豪雪地帯の酪農家にとっても、集乳に際して、牛舎への進入路などの除雪作業を行うこともなく嬉しいことであつたのでは無いでしょうか?

▼これから先、水稲作付け農家では、田植えの準備へと入りませんが、積雪が無い故に水不足も心配されません。

▼昨年の夏は、西日本豪雨や摂氏三十五℃に日が続く酷暑日も経験しましたが、今年は、どうか異常気象にならず災害の無い年になつてほしいと願うばかりです。

▼毎年、世界で自然災害発生ニュースが報じられますが、地震研究者からは「南海トラフ地震」など大規模地震を予測する報道もあります。

▼一月に開催した地区懇談会でも、大規模な地震が発生した場合での非常用電源設備の確保を求めるなどの声も寄せられました。

▼現代社会で頻発する天災地変の発生は、人災によるものとの指摘もあります。

▼酪農家が毎日使用し生乳を冷却貯蔵するバルククーラーの冷媒には、フロンガスが用いられていますが、これらも、地球上のオゾン層を破壊し、紫外線量を高める要因から地球環境の破壊物質との指摘もあります。

▼バルククーラーに使用するR22フロロンの生産が、二〇二〇年一月一日に中止されることで、酪農家には、バルククーラーの更新時期が早まり、その為の投資への心配もあることでしょうが、将来を担う可愛い子孫、人類のためにも地球環境のことを頭に描き、この投資に備えてほしいものと考えます。

(A・N)